

クラシックギターの種類

●クラシックギター（ガットギター、ナイロン弦ギター）

表面板にはスプルース（松）、またはセダー（杉）を使います。甘く豊かな音量が特徴で、演奏曲も非常に多くあります。ボサ・ノヴァ音楽などでも使用されます。

★調弦：1E, 2B, 3G, 4D, 5A, 6E



●エレクトリック・ナイロン（ガット）ギター

弦振動を拾うピックアップと、音色を調整するイコライザーが付いています。

PA 機器に接続し、増幅することができます。また、レコーディングなどにも便利です。

ハイポジションでの演奏性を高める「カットウェイ・モデル」もあり、近年人気が高まっています。



●フラメンコギター

表面板に透明のゴルペ板が貼ってあります。側板・裏板にはシープレス、シカモアなどの軽い材料を使っています。

一般に板が薄く、鋭く早い音の立ちあがりの特徴です。また、長時間の舞踏の伴奏に適するよう、弦高もやや低めに調整されています。

専用弦もありますが、通常のクラシックギター用の弦を使用しても問題ありません。



●アルトギター（レキントギター）

弦長は 530mm。ギターアンサンブルだけでなく、ポピュラー音楽や中南米の民族音楽でも使われます。

アルトギターとレキントギターはともに高音ギターですが、チューニングが異なります。

★調弦：アルト：7フレットにカポタストをつけた場合の同様の音程になります（5度高く調弦）。

6弦から「B,E,A,D,F#,B」シ、ミ、ラ、レ、ファ#、シとなります。

クラシックギターのハイテンション弦を使用して、ノーマル調弦でも楽しめます。

合奏用に使用されるのが多いですが、高音の綺麗な音がするので、個人で楽しむことも出来ます

レキント：5フレットにカポタストをつけた場合と同じ音になります（4度高く調弦）。

6弦から「A,D,G,C,E,A」ラ、レ、ソ、ド、ミ、ラとなります。

アルトギターより少し低く調弦するので、弦長も少し長く 540mm になっています。

レキントギター専用弦を使って、本来の調弦をして一般の楽譜を演奏しても、全体的に音が高くなるだけで、なんら演奏法に変わることはありません。



●バスギター

弦長 700mm。主にギターアンサンブルで使用します。

★調弦：1B, 2F#, 3D, 4A, 5E, 6B。専用弦を使用。

●コントラバスギター

弦長 750mm。主にギターアンサンブルで使用します。

★調弦：1E, 2B, 3G, 4D, 5A, 6E（1オクターブ下）。専用弦を使用。

